

2017 鏡川清流保全基本計画 取組事業実施状況一覧

資料 2

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 未中間評 価値	2018年度未 実績	2019年度 未実績	2020年度 未実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況、課題、 今後の方向性等	
水と水辺	1 水質の維持及び 向上	1 鏡川流域の中で有機汚濁負荷が大きい神田川流域を中心に下水道未普及地域の整備を推進するほか、既存の単独浄化槽及びくみ取り便槽から合併浄化槽への切り替え等を進めます。	環境保全課	浄化槽設置整備事業	浄化槽設置補助金の交付による単独浄化槽、くみ取り便槽から合併浄化槽への転換促進する。	合併処理浄化槽設置補助基数	125基/年	43基/年	50基/年	53基/年	目標未達	継続	社会情勢の変化等により、補助基数は減少しているが、未だに補助対象地域に単独浄化槽、くみ取り便槽が残存しているため事業を継続する。	
			上下水道局 下水道整備課	公共下水道汚水整備事業	下水道未普及地域の整備を推進し、水質改善を図るもの。	神田川流域の下水道整備率	51.8%	48.2%	50.3%	53.1%	目標以上	継続	引き続き、下水道未普及地域の整備を推進し、水質改善を図る。	
		2 家庭系排水と並行して工場系の排水対策も継続し、適正な排水処理の実施状況を監視するとともに、必要に応じて指導します。	環境保全課	浄化槽・生活排水対策推進事業	不適正管理浄化槽について個別指導を行う。	—	—	—	—	—	—	—	継続	現地確認を行い、適宜指導を行っている。今後も関係機関等と連携しながら事業を継続する。
			環境保全課	水質監視測定調査	排出水の多い工場・事業場のうち、排出水の汚染状態の監視を行う。	—	—	—	—	—	—	—	継続	毎年20事業程度（コロナ期を除く）の排出水の検査を実施しているが、排出基準値を超過している事業所は見られない。よって現在の20事業所を継続していく。
		3 閉鎖性水域の富栄養化の抑制に向けて、家庭系負荷の削減対策として、神田川流域の下水道計画区域では下水道の整備を推進し、下知・潮江水再生センターの増改築時には高度処理施設の整備を進めます。また、重倉川流域など浄化槽区域については、高度処理型合併処理浄化槽への切り替えを進めます。	環境保全課	浄化槽設置整備事業	浄化槽設置補助金の交付による単独浄化槽、くみ取り便槽から合併浄化槽への転換促進する。	合併処理浄化槽設置補助基数	125基/年	43基/年	50基/年	53基/年	目標未達	継続	社会情勢の変化等により、補助基数は減少しているが、未だに補助対象地域に単独浄化槽、くみ取り便槽が残存しているため事業を継続する。	
			上下水道局 下水道整備課	公共下水道汚水整備事業	下水道未普及地域の整備を推進し、水質改善を図るもの。	神田川流域の下水道整備率	51.8%	48.2%	50.3%	53.1%	目標以上	継続	引き続き、下水道未普及地域の整備を推進し、水質改善を図る。 また、下知・潮江水再生センターの処理方式については、高知県が定める浦戸湾流域別下水道整備総合計画に基づき決定する。	
		4 適正な水利用の促進	農林水産課	環境保全型農業直接支払交付金事業	環境保全型農業を推進するため、環境に対し負荷の少ない農業技術の確立と普及を図る農業者、また、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を育成、支援する。	環境保全型農業直接支払交付金の交付件数	1団体	1団体	1団体	1団体	目標以上	継続	引き続き、有機農業や地球温暖化防止など、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者等への支援を行う。	
			土佐山地域振興課	中山間地域土づくり推進事業	高知市内で発生する牛糞・馬糞・鶏糞、生ごみ、ユズ・四方竹残渣、竹粉等を原料として、自然界の浄化システムを応用した「B MW技術」により生成した生物活性水を活用し、良質堆肥の生産を行い、営農者へ提供することにより、資源循環型農業の振興を図るとともに、農薬や化学肥料の使用を控えた、環境に配慮した農業の推進及び農地の保全活動を支援するもの。	堆肥販売量	300 t	160 t	107.3 t	163 t	目標未達	継続	引き続き、牛糞や四方竹などの地元の原料を使って堆肥を製造し、地元農家に提供することで、資源循環型社会形成を目指していく。	
		5 窒素等の面源系負荷の占める割合が高い上流～中流域では、窒素やリンを含む森林土壌の流出防止対策として森林整備の推進を図ります。	鏡地域振興課	市有林造林事業	市有林において間伐や作業道開設等を実施し、市有財産の適正な管理及び水源涵養等の公益的機能を高度に発揮できる森林の育成を図るもの。	—	—	—	—	—	—	—	継続	毎年20ha以上の間伐が実施されている。育成途上にある市有林等に対して間伐等を今後も実施していく。
			鏡地域振興課	造林支援事業費補助金	民有林における間伐、作業道開設等に対して支援することにより、林業経営意欲の向上と森林の保全に取り組み、林業の振興を図るもの。	—	—	—	—	—	—	—	継続	森林所有者等が自ら行う間伐事業等に対する支援であり、適正な森林の整備を推進する上で今後も実施していく。
			鏡地域振興課	森林総合整備事業費補助金	間伐、作業道開設等に対して支援することにより、間伐を促進し、健全な森林の造成と森林が有する多面的機能の高度化を図るもの。	—	—	—	—	—	—	—	継続	毎年50ha以上の間伐が実施されている。間伐等に要する経費に対して支援することは、間伐等を促進する上で欠かせないことから今後も実施していく。
			鏡地域振興課	協働の森づくり事業	環境先進企業と協働で、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止及び水源涵養等に貢献する森林の整備促進を図るもの。	—	—	—	—	—	—	—	継続	令和2年度の時点で6企業と協定を締結している。協賛企業へ社会貢献活動の場を提供するとともに協賛金を活用して市有林の森林整備を行えることから、今後も実施していく。
		2 地域特性を踏まえた継続的な水質の監視	6 地域特性を踏まえた当面10か年の水質評価地点と具体的な水質目標値（水質監視の具体的な目標）を設定します。	新エネルギー・環境政策課	水質監視測定調査	平成29年3月に策定した「2017鏡川清流保全基本計画」において、各地区の水質目標設定の方針を踏まえた具体的な水質目標値を設定済	—	—	—	—	—	—	継続	引き続き環境保全課と連携して水質目標値に基づく水質の監視を行っていく。
				環境保全課	水質監視測定調査	平成29年3月に策定した「2017鏡川清流保全基本計画」において、各地区の水質目標設定の方針を踏まえた具体的な水質目標値を設定済	—	—	—	—	—	—	—	継続

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 未中間評 価値	2018年度未 実績	2019年度 未実績	2020年度 未実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況，課題， 今後の方向性等		
水と水辺	2	地域特性を踏まえた継続的な水質の監視	7	水質監視の具体的な目標をもとに，広範囲かつ継続的な水質監視を行います。	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	市民団体や教育委員会等と協働・連携を図りながら，継続的に実施する水生生物学習会の地点数を増やし，生息する水生昆虫から長期的な水質を判定するもの	3地点/年	2地点/年	2地点/年	0地点/年	目標未達	継続	本市主催の環境学習会のなかで調査を実施しているため，地点数は環境学習会の実施状況に左右される。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により環境学習会を開催しなかったため，0地点となっている。今後は，現在のモニタリング調査と併せて，水産多面的機能発揮対策により鏡川漁協が実施している生物モニタリング調査や市民団体等が実施しているもののデータを収集，蓄積することで水質を監視していく予定。	
					環境保全課	水質監視測定調査	水質汚濁防止法における公共用水域の汚濁状況の監視等	水質監視の具体的な目標	資料1P2表1「水質監視の具体的な目標及び達成状況」とおり	目標未達	継続	別添評価のとおり未達の目標値があるため，現状を維持する。			
	3	安全で良質な水の保全	8	水源地域となる源流域の継続的で計画的な森林整備を進めることにより，森林土壌の保水や水質浄化等の機能の維持・向上を図ります。	鏡地域振興課	市有林造林事業	市有林において間伐や作業道開設等を実施し，市有財産の適正な管理及び水源涵養等の公益的機能を高度に発揮できる森林の育成を図るもの。	—	—	—	—	—	継続	毎年20ha以上の間伐が実施されている。育成途上にある市有林等に対して間伐等を今後も実施していく。	
					鏡地域振興課	森林総合整備事業費補助金	間伐，作業道開設等に対して支援することにより，間伐を促進し，健全な森林の造成と森林が有する多面的機能の高度化を図るもの。	—	—	—	—	—	—	継続	毎年50ha以上の間伐が実施されている。間伐等に要する経費に対して支援することは，間伐等を促進する上で欠かせないことから今後も実施していく。
					鏡地域振興課	協働の森づくり事業	環境先進企業と協働で，二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止及び水源涵養等に貢献する森林の整備促進を図るもの。	—	—	—	—	—	—	継続	令和2年度の時点で6企業と協定を締結している。企業からの協賛金を活用して間伐等の森林整備を行うことは，協賛企業へ社会貢献活動の場を提供するとともに協賛金を活用して市有林の森林整備を行えることから，今後も実施していく。
					上下水道局総務課	水源地域森林整備事業	水源かん養に適した森林について市有林化を検討するとともに，取得した水源かん養林について，維持管理を行う。	—	—	—	—	—	—	継続	森林の市有林化については，取得の要件を満たす用地の売却等の申出があれば検討する。維持管理については現状を継続する。
					環境保全課	水質監視測定調査	「2017鏡川清流保全基本計画」に伴い，新たに水質目標設定が定められたので，鏡ダム上流域の水質監視体制が強化された。そのため，継続的な水質測定及び監視を行っていく。	水質監視の具体的な目標	資料1P2表1「水質監視の具体的な目標及び達成状況」とおり	目標未達	継続	別添評価のとおり未達の目標があるため，現状の監視を継続する。			
	上下水道局浄水課	水道水源の水質検査	水道水源の水質状況を把握・監視するため水質検査を実施するもの	水質検査計画に基づいた検査地点，項目及び頻度	水質検査計画に基づいた検査地点，項目及び頻度	水質検査計画通り実施	水質検査計画通り実施	水質検査計画通り実施	目標以上	継続	水道水源での定期的な水質検査や環境調査による水質状況の監視を継続する。				
	4	適正な水利用の促進	10	流域の水利用状況の実態を把握し，それを踏まえた上で，水利用の適正化に向けて関係者間で調整，検討します。	耕地課	鏡川濁水調整協議会	鏡川の濁水時における関係利水者の調整を円滑に行い，合理的な水利用の推進を図るもの。	—	—	—	—	—	継続	本協議会において，鏡川の濁水時も含め水利使用の調整の時期及び方法に関する協議等，合理的な水利使用の推進を図っている。今後も本協議会で関係利水者の調整を円滑に行っていく。	
					上下水道局企画財務課	状況に応じた協議会等の調整	鏡川の濁水時における関係利水者との調整については浄水課が鏡川濁水調整協議会で対応するが，水利用全体での適正化については，状況に応じ企画財務課が調整する。	—	—	—	—	—	—	継続	鏡川の濁水時における関係利水者との調整については効果的に実施できている。今後は，必要に応じて利水者間の協議を実施し，適正な水利用に努める。
			11	鏡川の恩恵を永続的に享受できるよう，一人ひとりが節水意識の向上など水利用について理解を深めます。	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	環境学習会やHP等により節水の対する意識向上など水利用について理解を深めていくもの	—	—	—	—	—	継続	小学生や大学生を対象とした環境学習会において，鏡川の重要性について啓発している。今後も，環境学習会をとおして，鏡川の魅力，役割及び適切な水利用の重要性について啓発していく。	
	上下水道局企画財務課	広報広聴事業	広報すいどうなど広報紙や水のふるさとフェスティバルをはじめとする各種イベントにおいて，水利用について市民の理解を深める。	広報紙の発行	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年	目標以上	継続	今後も広報すいどうだけでなく，局で実施するイベントにおいて，水利用について市民の理解を深める。				
	5	河川の連続性の確保及び自然河道（安定した河岸，河床）の保全と再生	12	自然河道の創出など良好な河川環境の保全と再生に向け，その対策について関係者間で調整，検討します。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	鏡川の自然環境調査（産卵場・遡上等）に基づき，現状や課題について関係者間で情報共有し，良好な河川環境の保全と再生に向けた対策について調整・検討するもの	—	—	—	—	—	継続	令和3年度は，毎年実施しているアユの遡上及び産卵場の調査に係る委託業務に朝倉堰における魚道の機能改善に係る調査を追加し，アユ等が朝倉堰を遡上する上での課題を把握することとしており，その結果を関係者間での情報共有し，改善方法の検討を行っていく。	
			13	河川工事等の情報の把握や必要に応じて環境に配慮した対策について関係者間で調整，検討します。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	河川工事や河川調査等について，関係者間で情報共有し，環境に配慮した対策について調整・検討するもの	—	—	—	—	—	継続	令和3年度は，毎年実施しているアユの遡上及び産卵場の調査に係る委託業務に朝倉堰における魚道の機能改善に係る調査を追加し，アユ等が朝倉堰を遡上する上での課題を把握することとしており，その結果を関係者間での情報共有し，改善方法の検討を行っていく。	

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 末中間評 価値	2018年度末 実績	2019年度 末実績	2020年度 末実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況，課題， 今後の方向性等		
水と水辺	5	河川の連続性の確保及び自然河道（安定した河岸，河床）の保全と再生	14	河川内における生きものの移動の円滑化のため，魚道等の効果的な活用・改善の方法について，関係者間で調整，検討します。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	鏡川の自然環境調査（産卵場・遡上等）に基づき，現状や課題について関係者間で情報共有し，魚道等の効果的な活用・改善の方法について調整・検討するもの	—	—	—	—	—	継続	令和3年度は，毎年実施しているアユの遡上及び産卵場の調査に係る委託業務に朝倉堰における魚道の機能改善に係る調査を追加し，アユ等が朝倉堰を遡上する上での課題を把握することとしており，その結果をもって関係者間での情報共有や改善方法の検討を実施していく。	
					耕地課	基幹水利施設ストックマネジメント事業等	魚道を含む堰施設の適正な維持管理のため，老朽化した施設について機能診断に基づき更新補修を行うもの。	—	—	—	—	—	—	継続	現時点での大規模な更新及び改修等は未定であるが，引き続き魚道を含む堰施設の適正な維持管理のため，老朽化した施設については機能診断に基づき事業計画の検討を関係機関と協議しながら進めていく。
	6	親水性のある水辺	15	市民が安心して快適に遊泳等ができる遊び場として活用できるよう，中～下流域を中心に水浴場としての適性を定期的に判定するなど水質の監視を継続します。	環境保全課	水質監視測定調査	教育委員会の依頼により，鏡川朝倉堰上流部における，鏡川水泳補導所の開設にあたり，水浴場に関する基準に適合するかの水質検査を実施している。	水浴場に関する基準への適合	適合	適合	適合	適合	目標以上	継続	3か年とも水浴場として「適」であり，今後も継続して水質検査を実施していく。
					新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	環境学習会やHP等により，鏡川の魅力などの情報を発信していくもの	—	—	—	—	—	—	継続	小学生や大学生を対象とした環境学習会において，鏡川の重要性について啓発している。今後も，環境学習会をとおして，鏡川の魅力，役割及び適切な水利用の重要性について啓発していく。
			16	多くの市民が水辺に親しむことができるよう，水質結果等の公表や名水としての鏡川の魅力などの情報を発信します。	環境保全課	水質監視測定調査	公共用水域である鏡川の水質測定結果に伴い環境基準に適合しているか，水質状況を公表している。	水質測定結果をホームページに公表	公表	公表済	公表済	公表済	目標以上	継続	引き続きホームページに水質検査結果を掲載していく。
					鏡地域振興課	市有林造林事業	市有林において間伐や作業道開設等を実施し，市有財産の適正な管理及び水源涵養等の公益的機能を高度に発揮できる森林の育成を図るもの。	市内内で実施する間伐面積	90ha/年	125.61ha/年	110.37ha/年	76.61ha/年	目標通り	継続	毎年20ha以上の間伐が実施されている。育成途上にある市有林等に対して間伐等を今後も実施していく。
森	7	森林整備の促進による森林の公益的機能の向上	17	現状の豊かな森林資源を収穫利用しながら，長期的かつ計画的に下層植生と土壌の発達を促す森づくりを推進します。	鏡地域振興課	造林支援事業費補助金	民有林における間伐，作業道開設等に対して支援することにより，林業経営意欲の向上と森林の保全に取り組み，林業の振興を図るもの。	市内内で実施する間伐面積	90ha/年	125.61ha/年	110.37ha/年	76.61ha/年	目標通り	継続	森林所有者等が自ら行う間伐事業等に対する支援であり，適正な森林の整備を推進する上で今後も実施していく。
					鏡地域振興課	森林総合整備事業費補助金	間伐，作業道開設等に対して支援することにより，間伐を促進し，健全な森林の造成と森林が有する多面的機能の高度化を図るもの。	市内内で実施する間伐面積	90ha/年	125.61ha/年	110.37ha/年	76.61ha/年	目標通り	継続	毎年50ha以上の間伐が実施されている。間伐等に要する経費に対して支援することは，間伐等を促進する上で欠かせないことから今後も実施していく。
					鏡地域振興課	協働の森づくり事業	環境先進企業と協働で，二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止及び水源涵養等に貢献する森林の整備促進を図るもの。	市内内で実施する間伐面積	90ha/年	125.61ha/年	110.37ha/年	76.61ha/年	目標通り	継続	令和2年度の時点で6企業と協定を締結している。企業からの協賛金を活用して間伐等の森林整備を行うことは，協賛企業へ社会貢献活動の場を提供するとともに協賛金を活用して市有林の森林整備を行えることから，今後も実施していく。
					上下水道局総務課	水源地域森林整備事業	水源かん養に適した森林について市有林化を検討するとともに，取得した水源かん養林について，その維持管理を行います。	—	—	—	—	—	—	継続	森林の市有林化については，取得の要件を満たす用地の売却等の申出があれば検討する。維持管理については現状を継続する。
	19	今ある河畔林を保全するため，河畔林の重要性について理解を促します。	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	環境学習会やHP等により，河畔林の重要性について情報を発信していくもの	—	—	—	—	—	継続	小学生や大学生を対象とした環境学習会において，鏡川の重要性について啓発している。今後も，環境学習会をとおして，鏡川の魅力，役割及び適切な水利用の重要性について啓発していく。			
	8	持続可能な林業の促進	20	「森の工場」による森林経営の集約化を図り，市有林では流域のモデル的な森林施策に取り組みます。	鏡地域振興課	市有林造林事業	市有林において間伐や作業道開設等を実施し，市有財産の適正な管理及び水源涵養等の公益的機能を高度に発揮できる森林の育成を図るもの。	市内内で実施する間伐面積 市内内で実施する搬出間伐の材積	90ha/年 3,800m ³	125.61ha/年 2,197m ³	110.37ha/年 2,778m ³	76.61ha/年 2,603m ³	目標通り 目標未達	継続	毎年20ha以上の間伐が実施されている。育成途上にある市有林等に対して間伐等を今後も実施していく。
鏡地域振興課					森林総合整備事業費補助金	間伐，作業道開設等に対して支援することにより，間伐を促進し，健全な森林の造成と森林が有する多面的機能の高度化を図るもの。	市内内で実施する間伐面積 市内内で実施する搬出間伐の材積	90ha/年 3,800m ³	125.61ha/年 2,197m ³	110.37ha/年 2,778m ³	76.61ha/年 2,603m ³	目標通り 目標未達	継続	毎年50ha以上の間伐が実施されている。間伐等に要する経費に対して支援することは，間伐等を促進する上で欠かせないことから今後も実施していく。	
21			林道・作業道の整備により，管理しやすい森づくりを進めます。	鏡地域振興課	林道等保全事業	市管理の林道，基幹作業道及び作業道を復旧整備することにより，森林施策の推進及び林業の振興を図るもの。	舗装を実施した林道（市管理）の総延長距離	28,450m	28,883.4m	28,991m	28,991m	目標以上	継続	林道等の舗装率は高くなっているが，経年劣化により崩落や欠損等が発生している。森林の施策には林道等の整備は重要であり，今後も実施する必要がある。	
				鏡地域振興課	林道等維持管理	市管理の林道，基幹作業道及び作業道を適正に管理することにより，災害の防止，利便性の確保，管理作業の省力化を進め，森林施策の推進及び林業の振興を図るもの。	舗装を実施した林道（市管理）の総延長距離	28,450m	28,883.4m	28,991m	—	目標以上	事業組換	主な事業として原材料支給による舗装を行ってきた。令和2年度より事業の組み換えを行った。今後も林道等の維持管理のために実施していく。	
				鏡地域振興課	林道等保全活動支援事業	市が管理する林道等の保全活動への支援を行うことにより，路網の機能強化と災害の防止を図るもの。	舗装を実施した林道（市管理）の総延長距離	28,450m	—	—	28,991m	—	継続	林道等維持管理事業の事業内容と財源の変更に伴って，令和2年度から新たな事業として実施している。	
				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 末中間評 価値	2018年度末 実績	2019年度 末実績	2020年度 末実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況，課題， 今後の方向性等		
森	8	持続可能な林業の促進	21	林道・作業道の整備により，管理しやすい森づくりを進めます。	鏡地域振興課	林道舗装事業	林道の舗装整備を進めることにより，効率的な森林整備の実施及び災害の防止を図るもの。	舗装を実施した林道（市管理）の総延長距離	28,450m	28,883.4m	28,991m	—	終了	事業は平成31年度で終了	
					鏡地域振興課	林道開設改良事業	市管理の林道等を整備し，通行の利便性を高め，森林施業の推進及び林業の振興を図るとともに，電源立地地域対策交付金を活用することにより，発電施設について地域住民の理解を得るもの。	舗装を実施した林道（市管理）の総延長距離	28,450m	28,883.4m	28,991m	28,991m	目標以上	継続	林道の舗装率は2020年度末で99.2%となっているが，林道以外の基幹作業道，作業道の舗装率は48.9%であり，更に舗装を進めていく必要がある。
	9	森林環境の多様な活用	22	上下流域の市民の交流や都市と中山間地域の共生，市民の清流保全や森林への関心を促し，新たな経済的価値を見いだすことが期待できるよう，森づくりを進めながら，森林浴や散策，環境教育の場として多目的に活用します。	鏡地域振興課	市民の森整備事業	中山間地域の活性化及び都市部と中山間地域との交流を図るため，水源地域の交流拠点の整備を進めるもの。	—	—	—	—	—	終了	事業は平成31年度で終了	
					鏡地域振興課	森林保全推進事業費補助金	木に関する情報の提供や木とのふれあいによる体験等を行う事業に対して支援することにより，木とふれあう機会の提供を図るもの。	—	—	—	—	—	—	内容変更	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。事業を通して市民等へ木材の利用促進や木と触れ合う機会の提供への支援を今後も実施していく。
					学校教育課	高知県山の学習支援事業	本県の豊かな森林環境のよさを子どもたちに気付かせ，それらに関わる体験活動を通して生きる力を育むために，教科や総合的な学習の時間において，年間を通して森林環境教育を実践するもの	学校と連携した環境学習の実施校数	14校/年 ※当初評価値13校/年から変更	13校/年	15校/年	17校/年	目標以上	継続	各学校が森林総合センター等での森林環境学習を通して，森林の果たす役割について理解を深めている。実施希望校は年々増加しており，継続的な環境学習の定着が見られる。
					青少年・事務管理課	工石山グリーン・グリーンハイキング	小学生とその保護者を対象とした環境学習会を公募・開催することにより森林への関心を高めようとするもの。	工石山青少年の家利用者数	6,000人/年	3,991人/年	4,550人/年	2,656人/年	目標未達	継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら参加者数や事業実施時間等を調整していく必要がある。
	10	森林整備への理解の促進	23	森林整備の重要性について，森林所有者や市民の理解を促します。	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	環境学習会やHP等により，森林整備の重要性について情報を発信していくもの	—	—	—	—	—	継続	小学生や大学生を対象とした環境学習会において，鏡川の重要性について啓発している。今後も，環境学習会をとおして，鏡川の魅力，役割及び適切な水利用の重要性について啓発していく。	
					新エネルギー・環境政策課	里山保全啓発推進事業	環境学習会やHP等により，森林整備の重要性について情報を発信していくもの	—	—	—	—	—	—	継続	小学生や保護者を対象とした環境学習会等を里山で実施することで森林整備の重要性を発信しており，今後も継続して実施する。
					鏡地域振興課	森林保全推進事業費補助金	木に関する情報の提供や木とのふれあいによる体験等を行う事業に対して支援することにより，木とふれあう機会の提供を図るもの。	—	—	—	—	—	—	内容変更	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。事業を通して市民等へ木材の利用促進や木と触れ合う機会の提供への支援を今後も実施していく。
			24	必要に応じて，森林整備の効果等について，研究成果等の情報収集に努めます。	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	森林整備の効果等について，情報収集に努め，森林整備の重要性について環境学習会やHP等を通じて情報発信するもの	—	—	—	—	—	—	継続	森林整備の効果等に係る情報収集を実施できていないため，今後は，関係機関や関係部署から情報を収集し情報を発信していく必要がある。
					新エネルギー・環境政策課	里山保全啓発推進事業	森林整備の効果等について，情報収集に努め，森林整備の重要性について環境学習会やHP等を通じて情報発信するもの	—	—	—	—	—	—	継続	森林整備の効果等に係る情報収集を十分に実施できていないため，今後は，関係機関や関係部署からさらに情報を収集し情報を発信していく必要がある。
					鏡地域振興課	—	現時点では予算化された事業はない。	—	—	—	—	—	—	未実施	事業実施予定なし
	11	森林整備の担い手対策	25	林業担い手の育成のため，森林組合技術職員の人材確保と育成に対する支援を行います。	鏡地域振興課	林業担い手育成対策事業費補助金	本市の林業の活性化を図るため，間伐・作業道開設等の森林施業を担う高知市森林組合の担い手の育成を支援するもの。	森林組合の技術職員数	13名	11名	8名	7名	目標未達	新規実施	事業の対象者，財源等の変更に伴って令和3年度から林業技能者育成支援事業へと変更する。本市における林業技術者の育成は今後も必要であることから，継続して支援していく。
					鏡地域振興課	造林支援事業費補助金	民有林における間伐，作業道開設等に対して支援することにより，林業経営意欲の向上と森林の保全に取り組み，林業の振興を図るもの。	—	—	—	—	—	—	継続	森林所有者等が自ら行う間伐事業等に対する支援であり，適正な森林の整備を推進する上で今後も実施していく。
			27	森林ボランティア等による里山整備を推進します。	新エネルギー・環境政策課	里山保全啓発推進事業	市民団体や地元住民と協働で里山における間伐体験や木工教室等のイベントを実施し，森林ボランティア等による里山整備を推進するとともに，里山保全の意識啓発を図るもの	里山環境学習会の件数	1件/年	1件	0件	0件	目標未達	継続	子どもたちに里山を身近な存在に感じてもらう，自然環境保全意識の向上を図るため，平成27年度から，（公社）24時間テレビチャリティー委員会（RKC高知放送）と共催で「南ヶ丘の里山で間伐体験！」を実施している。2019年度及び2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止している。
	鏡地域振興課	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業 ※予算課は，新エネルギー・環境政策課			地域住民・森林所有者・自伐林家等が協力して実施する里山林の保全，森林資源の利活用などの取組みに対して支援するもの	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業費補助金交付件数	5件	11件	6件	6件	目標以上	継続	森林現場の高齢化や担い手不足等の課題を解決すべく，森林保全管理等に取り組む活動組織に対して支援し，情報共有を行っている。		

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 末中間評 価値	2018年度末 実績	2019年度 末実績	2020年度 末実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況，課題， 今後の方向性等			
生きもの	12	流域の動植物と希少動植物の実態把握とその保全・保護対策	28	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全区域指定検討事業	平成29～30年度の鏡川清流保全区域指定検討業務委託の中で実施される自然環境等の現地調査を実施し，保全すべき区域を選定するとともに，指定した区域の自然環境や景観を保全するための手法を検討するもの	—	—	—	—	—	継続	事業のなかで実施した現地調査により，候補地の現状及び問題点について把握しており，引き続き指定について検討していく。			
				新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	鏡川の自然環境調査（産卵場・遡上等）を継続して実施することにより，鏡川の河川環境の状態を把握し，調査結果を関係者間で情報共有し，その保全対策について検討するもの	—	—	—	—	—	—	継続	アユの遡上及び産卵場調査を行い，アユの生息状況を把握し，対策を検討している。毎年調査を実施することにより，河川環境のデータを蓄積している。調査結果は，鏡川漁業協同組合に共有するとともにHPで公開しており，引き続き調査及び情報共有を実施していく。		
				新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	市民団体や教育委員会等と協働・連携を図りながら，継続的に実施する水生生物学学会の地点数を増やし，生息する水生昆虫を種類等を調査するもの	水生昆虫による水質モニタリング地点の数	3地点/年	2地点/年	2地点/年	0地点/年	目標未達	継続	本市主催の環境学習会のなかで調査を実施しているため，地点数は環境学習会の実施状況に左右される。今後は，現在のモニタリング調査と併せて，水産多面的機能発揮対策により鏡川漁協が実施している生物モニタリング調査や市民団体や学校等が実施している調査のデータを取集し，蓄積していく予定。		
				みどり課 (アニマルランド)	—	現時点で実施事業なし	—	—	—	—	—	—	未実施	事業実施予定なし		
			新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	様々な調査結果等について，HP等による市民等への情報提供や，環境学習会等において利用し，意識啓発に役立てるもの	—	—	—	—	—	—	—	継続	鏡川清流保全対策事業によって得られてアユの遡上数及び産卵場調査の結果を環境学習会のなかで利用し，市民の意識啓発に努めている。現在公表しているデータは鏡川清流保全対策事業のアユのデータのみであるため，今後，公表データを増やしていく予定。		
			新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	鏡川の自然環境調査（産卵場・遡上等）の調査結果をHP等で公表し，鏡川の清流保全に対する意識啓発を図るもの	—	—	—	—	—	—	—	継続	調査結果は，鏡川漁業協同組合に共有するとともにHPで公開しており，継続して実施する。他の団体とも連携し，意識啓発や環境教育等につなげていく必要があるため，環境学習会のなかでも積極的に情報発信していく。		
			みどり課 (アニマルランド)	出前授業・社会見学（校外学習）事業	授業のメニューに，サンショウウオなど鏡川の生物について学習するものを用意し，保全に対する意識啓発を図るもの	鏡川流域の生きものについての啓発活動の実施回数	2回/年	0回/年	1回/年	1回/年	目標未達	継続	新型コロナ感染症により，出前授業や社会見学自体の実施を見送る学校が多い。また複数のプログラムを提供しているため，鏡川に関するものがなかなか選ばれない状況にある。参加者の興味を引く魅力的なものにするために，今一度内容の再検討が必要。			
			新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全区域指定検討事業	保全すべき区域の情報やその必要性について市民に広く周知するため，概要版を作成するもの。また，自然環境等の現地調査で得られた情報により保全すべき区域を選定し，その保全の手法についても合わせて検討していくもの	—	—	—	—	—	—	—	継続	事業のなかで実施した現地調査により，候補地の現状及び問題点について把握しており，引き続き指定について検討していく。		
			みどり課 (アニマルランド)	—	現時点で実施事業なし	—	—	—	—	—	—	—	未実施	事業実施予定なし		
			13	多様な生きもの の生息空間の保全と再生	31	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	鏡川自然環境調査（アユの産卵場・遡上）を継続して実施するとともに，県が実施している陸封アユの生息状況等についても情報を集積していくもの	天然アユ遡上数（直近3年間の平均値）	50万尾 (直近3か年の平均値)	19万尾 (2016～2018年度 平均値)	19万尾 (2017～2019年度 平均値)	22.2万尾 (2018年～2020年 度平均値)	目標未達	継続	アユの遡上及び産卵場調査を行い，アユの生息状況を把握し，対策を検討しており，今後も継続する。陸封アユの生息状況については，今後，鏡川漁業協同組合等とも連携して情報を収集していく。
						新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	鏡川自然環境調査（アユの産卵場・遡上）の調査結果に基づき，アユの産卵場の維持・拡大に向けた課題等について情報共有をするとともに，その維持・拡大に向けた対策（廊中堰の転倒等）について関係者間で調整，検討するもの	—	—	—	—	—	—	継続	令和3年度は，毎年実施しているアユの遡上及び産卵場の調査に係る委託業務に朝倉堰における魚道の機能改善に係る調査を追加し，アユ等が朝倉堰を遡上する上での課題を把握する。その調査結果をもって，関係者間で調整，検討を行う。
						新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	鏡川の自然環境調査（産卵場・遡上等）に基づき，現状や課題について関係者間で情報共有しながら，アユの産卵場整備について関係主体と連携を図るもの	—	—	—	—	—	—	継続	調査結果については，毎年，鏡川漁業協同組合に共有しており，鏡川漁業協同組合が実施する産卵場整備に生かされている。さらなる関係機関との連携を目指し，引き続き調査結果をHPで公表していく。
						新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	関係主体との情報共有に努めるもの	—	—	—	—	—	—	—	継続

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 末中間評 価値	2018年度末 実績	2019年度 末実績	2020年度 末実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況，課題， 今後の方向性等		
生きもの	13	多様な生きもの の生息空間の保 全と再生	34	環境保全課	浄化槽設置整備事業	浄化槽設置補助金の交付による単独浄化槽、くみ取り便槽から合併浄化槽への転換促進する。	合併処理浄化槽設置補助基数	125基/年	43基/年	50基/年	53基/年	目標未達	継続	社会情勢の変化等により、補助基数は減少しているが、未だに補助対象地域に単独浄化槽、くみ取り便槽が残存しているため事業を継続する。	
				環境保全課	水質監視測定調査業務	鏡川の水質検査における状況の把握	水質監視の具体的な目標の達成	資料1P2表1「水質監視の具体的な目標及び達成状況」とおり	目標未達	継続	別添評価のとおり未達の目標があるため、現状の監視を継続する。				
				農林水産課	環境保全型農業直接支払交付金事業	環境保全型農業を推進するため、環境に対し負荷の少ない農業技術の確立と普及を図る農業者、また、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を育成、支援する。	環境保全型農業直接支払交付金の交付件数	1団体	1団体	1団体	1団体	目標以上	継続	引き続き、有機農業や地球温暖化防止など、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者等への支援を行う。	
				鏡地域振興課	—	森林には土砂流出防止機能があるが、市の具体的対策としては、森林土壌から窒素・リンの流出量を抑制的に抑制する事業は実施していない。	—	—	—	—	—	—	未実施	事業実施予定なし	
				土佐山地域振興課	中山間地域土づくり推進事業	高知市内で発生する牛糞・馬糞・鶏糞、生ごみ、ユズ・四方竹残渣、竹粉等を原料として、自然界の浄化システムを応用した「BMW技術」により生成した生物活性水を活用し、良質堆肥の生産を行い、営農者へ提供することにより、資源循環型農業の振興を図るとともに、農薬や化学肥料の使用を控えた、環境に配慮した農業の推進及び農地の保全活動を支援するもの。	堆肥販売量	300 t	160 t	107.3 t	163 t	目標未達	継続	引き続き、牛糞や四方竹などの地元の原料を使って堆肥を製造し、地元農家に提供することで、資源循環型社会形成を目指していく。	
				上下水道局 下水道整備課	公共下水道汚水整備事業	下水道未普及地域の整備を推進し、水質改善を図るもの	神田川流域の下水道整備率	51.8%	48.2%	50.3%	53.1%	目標以上	継続	引き続き、下水道未普及地域の整備を推進し、水質改善を図る。	
	35	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	環境学習会やHP等で、干潟、藻場、渚等の重要性に関する情報を発信していくもの	—	—	—	—	—	—	継続	環境学習会やHP等での情報発信が十分でないため、今後、情報発信に努める。			
		36	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	市民団体や教育委員会等と協働・連携を図りながら、継続的に実施する水生生物学習会の地点数を増やし、生息する水生昆虫の種類等を調査するもの。また、水生生物観察会、ホテルやカエル等の学習会やHP等を通じて、陸域と水域を利用する生きものの生息環境の保全とその連続性の確保の重要性を伝えていくもの	水生昆虫による水質モニタリング地点の数	3地点/年	2地点/年	2地点/年	0地点/年	目標未達	継続	本市主催の環境学習会のなかで調査を実施しているため、地点数は環境学習会の実施状況に左右される。今後は、現在のモニタリング調査と併せて、水産多面的機能発揮対策により鏡川漁協が実施している生物モニタリング調査や市民団体や学校等が実施している調査のデータを集集し、蓄積していく必要がある。		
	ホテルに関する情報発信の件数				4件/年	4件/年	3件/年	4件/年	目標以上						
	14	外来生物及び有害鳥獣への対策	37	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	環境学習会、広報誌及びHP等で、市民や事業者に対して、外来生物の危険性、生態系や経済、産業等に及ぼす影響についての理解を促すとともに、予防三原則に基づく取組を進めま	—	—	—	—	—	—	継続	環境学習会、広報紙及びHP等で外来生物の危険性について啓発を行っており、今後も引き続き実施していく。	
				新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	特定外来生物を含む生態系被害防止外来種リストに掲載されている種については、確認情報等の提供を求め、生息・生育状況等の把握するとともに、その対策等について情報発信を行います。	—	—	—	—	—	—	継続	広報紙やHP等で、市民や事業者に対して、外来生物の確認情報等の提供を求めている。情報提供があった際は、高知県鳥獣対策課へ情報共有し、対策等について市民に情報発信している。今後も引き続き高知県と連携し実施していく。	
				農林水産課	鳥獣被害緊急対策事業	有害鳥獣のうちシカについては、隣接する市町や県と連携して、農林業や自然植生への被害状況及びシカの生息状況について把握し、適正な個体数管理に向け、必要に応じて捕獲等の対策を実施します。	シカ捕獲に対する報償金等の支給実績(頭)	20頭/年	11頭/年	6頭/年	23頭/年	目標以上	継続	本市の鳥獣対策を進めていく上で必要な事業であり、今後も事業の実施を行っていく。なお、成果指標の基となる「第5次鳥獣被害防止計画（令和3年度～令和5年度）」において、捕獲計画数は2023年度までの設定となっていることから、今回は2026年度末目標値を設定しない。	
				農林水産課	鳥獣被害緊急対策事業	シカによる被害や自然の恵みとしての活用について、市民等に情報発信を行います。	—	—	—	—	—	—	—	継続	本市の鳥獣対策を進めていく上で必要な事業であり、今後も事業の実施を行っていく。
				新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	関係主体との情報共有に努めるもの	—	—	—	—	—	—	—	継続	鏡川漁業協同組合とカワウについての情報を共有しており、今後も引き続き情報共有に努めていく。
農林水産課	鳥獣被害緊急対策事業	鏡川漁協と連携し、カワウについての情報収集や、5月・10月には鏡川におけるカワウの一斉駆除を実施。また、市単独報償金の支給による有害捕獲活動の促進を図る	カワウ捕獲に対する報償金等の支給実績(羽)	50羽/年	23羽/年	31羽/年	48羽/年	目標通り	継続	本市の鳥獣対策を進めていく上で必要な事業であり、今後も事業の実施を行っていく。					

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 未中間評 価値	2018年度末 実績	2019年度 未実績	2020年度 未実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況，課題， 今後の方向性等	
景観	15	区域指定の推進	42	鏡川の自然環境と河川景観の課題を踏まえ、指定の意義や指定にかかる評価項目・基準を明確にします。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全区域指定検討事業	平成29～30年度の鏡川清流保全区域指定検討業務委託により、自然環境等の資料調査等により、保全すべき区域の評価項目・評価基準を策定するもの	自然環境保全区域の追加指定 (追加指定)	7カ所 (現状維持)	7カ所 (現状維持)	7カ所 (現状維持)	目標未達	終了	平成29～30年度の自然環境等の資料調査等により、保全すべき区域の評価項目・評価基準を策定した。
			43	取組42で明確にした指定の意義、指定にかかる評価項目・基準等に基づき、指定地及び候補地の現状調査を実施し、併せて新たな候補地の掘り起こしを行います。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全区域指定検討事業	No.4 2で策定した評価項目及び基準に基づき、指定地及び候補地の自然環境等の現状調査等を実施し、合わせて新たな保全すべき区域の掘り起こしをするもの	自然環境保全区域の追加指定 (追加指定)	7カ所 (現状維持)	7カ所 (現状維持)	7カ所 (現状維持)	目標未達		
			44	取組43で把握した現状等を踏まえて、評価や優先順位を定め、新たな指定や指定の見直しを行います。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全区域指定検討事業	No.4 2で策定した評価項目及び基準、自然環境等の資料調査や現地調査等の結果に基づき、今後保全すべき区域の候補地を選定するもの	自然環境保全区域の追加指定 (追加指定)	7カ所 (現状維持)	7カ所 (現状維持)	7カ所 (現状維持)	目標未達	終了	平成30年度に自然環境保全区域及び景観形成区域の候補地を選定し、審議会の提言を受けた。
	16	景観の保全・形成を推進するしくみづくり	45	良好な景観の保全・形成を図るために、里山保全条例の手法の導入について検討するとともに、四万十川条例等の先進事例について情報収集を行いながら、関係機関と効果的な保全の手法を検証し、指定した区域の自然環境や景観への配慮が十分でない開発等の行為の抑制につなげていきます。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全区域指定検討事業	平成29～30年度の鏡川清流保全区域指定検討業務委託の中で、鏡川清流保全条例の改正も含め、指定した区域の自然環境や景観を保全するための手法を検討するもの	—	—	—	—	—	継続	保全手法について、景観形成候補地の住民等と協議を行ってきた。景観形成区域については、区域指定の検討の中で新たな区域指定の実効性や、候補地住民の負担感など解決すべき課題が生じている。そのため、区域指定に係る検討を継続しながら、鏡川流域関係人口創出事業で創出する関係人口の関わりによって、流域の景観や自然環境の保全につなげることも目指す。
			46	指定した自然環境保全区域や景観形成区域の保全や形成に向けた支援の充実を図ります。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全区域指定検討事業	平成29～30年度の鏡川清流保全区域指定検討業務委託の中で、鏡川清流保全条例の改正も含め、指定した区域の自然環境や景観を保全するための手法を検討するもの	—	—	—	—	—	継続	保全手法について、景観形成候補地の住民等と協議を行ってきた。景観形成区域については、区域指定の検討の中で新たな区域指定の実効性や、候補地住民の負担感など解決すべき課題が生じている。そのため、区域指定に係る検討を継続しながら、鏡川流域関係人口創出事業で創出する関係人口の関わりによって、流域の景観や自然環境の保全につなげることも目指す。
					新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	既存の「鏡川清流保全対策事業費補助金交付要綱」の見直しについて検討するもの	—	—	—	—	—	継続	現在、鏡川清流保全対策事業費補助金の交付実績は年1件である。指定区域の保全手法について検討中であることから、現在の内容で補助金交付を継続しつつ、指定区域の保全に係る住民ニーズに応じて補助金交付要綱の内容を検討していく。
			47	流域の自然環境や景観の美しさ、生物の多様性、歴史、文化等を保全していくために、その価値を発信し、市民等に景観保全への理解を促します。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全区域指定検討事業	指定した区域の概要版の作成し、市民等に景観保全への理解を促すもの	概要版の作成による啓発	概要版の作成による啓発	未作成	未作成	未作成	目標未達	継続
			新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	環境学習会やHP、「鏡川写真コンテスト」等を通じて、流域の自然環境や景観の美しさ等について情報を発信し、市民等に景観保全への理解を促すもの	鏡川写真コンテストへの応募作品数	130点	105点	119点	0点	目標未達	継続	「鏡川写真コンテスト」等により市民と協働して流域の景観の美しさを発信しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催していない。新型コロナウイルス感染症等の影響で「鏡川写真コンテスト」を開催できなかった場合、情報発信量が減少することが課題である。「鏡川写真コンテスト」の取組は継続しつつ、令和3年度から実施する鏡川流域関係人口創出事業による情報発信も行っていく。	

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 末中間評 価値	2018年度末 実績	2019年度 末実績	2020年度 末実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況，課題， 今後の方向性等	
まち・ひと・しごと	17 鏡川の情報発信と共有	48 鏡川の観光や学習・各種活動等の情報の発信に向けて、「ほぼ週刊鏡川」等のホームページの見直しや、SNSの活用、パンフレットやマップの作成など発信方法の拡充を図ります。	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	鏡川の観光や学習・各種活動等の情報の発信に向けて、「ほぼ週刊鏡川」等のHPの見直しや、SNSの活用、情報誌やパンフレット、マップの作成など発信方法の拡充を図るもの	—	—	—	—	—	—	継続	令和2年度より、SNSを活用した鏡川の情報発信を開始し、発信方法の拡充を図った。職員だけでは十分な情報発信量を確保できないため、関係団体や市民と連携した情報発信が必要である。	
			みどり課 (アニマルランド)	—	—	現時点で実施事業なし	—	—	—	—	—	—	未実施	事業実施予定なし
		49 鏡川流域をフィールドとしたイベント等を開催します。	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	市民団体等と協働・連携を図りながら、鏡川流域（鏡川、工石山等）をフィールドとした環境学習会（水生生物学学習会、ホテルやカエルの学習会等）やイベントを実施するもの	—	—	—	—	—	—	—	継続	「鏡川わくわくツアー」や「里山歩きとホテルのタペin久重」といった鏡川をフィールドとしたイベントを実施している。現在のイベントを継続しつつ、令和3年度より実施する鏡川流域関係人口創出事業を活用した情報発信も併せて実施していく。
	18 環境学習の推進	50 子どもたちや親世代を対象に、「学びの場としての鏡川」を活用した環境学習会をNPO等団体と協働・連携を図りながら、継続的に実施します。	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	市民団体等と協働・連携を図りながら、鏡川流域（鏡川、工石山等）をフィールドとした環境学習会（水生生物学学習会、ホテルやカエルの学習会等）やイベントを実施するもの	環境学習会等参加者数	590人/年	798人	309人	350人	目標未達	継続	「鏡川わくわくツアー」や「里山歩きとホテルのタペin久重」といった鏡川をフィールドとしたイベントを実施しているが、本市の主催事業等のみでは、参加者数に限界があることから、今後は令和3年度に製作する鏡川の紹介やイベントの様子等をまとめた動画をHP等で公開することにより、広く環境学習を推進していく。	
			みどり課 (アニマルランド)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	未実施	事業実施予定なし
		51 副読本の作成や提供、出前教室への人的支援などの教育委員会やNPO等団体との連携を図り、小・中・義務教育学校を対象とした環境学習を推進します。	青少年・事務管理課	水生物学学習in鏡川	小学生とその保護者を対象として水生生物の学習会を開催し、環境学習を継続的に行おうとするもの。	工石山青少年の家利用者数	6,000人/年	3,991人/年	4,550人/年	2,656人/年	目標未達	継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら参加者数や事業実施時間等を調整していく必要がある。	
	51	副読本の作成や提供、出前教室への人的支援などの教育委員会やNPO等団体との連携を図り、小・中・義務教育学校を対象とした環境学習を推進します。	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	市民団体や教育委員会等と協働・連携を図りながら、環境学習会（水生生物学学習会、ホテルやカエルの学習会等）を学校や放課後児童クラブ等を通じて実施するもの	学校と連携した環境学習会の実施校数	1校/年	12校/年	4校/年	5校/年	目標以上	継続	学校や放課後児童クラブで環境学習会や出前講座を実施している。小学生の理解につながる効果的な資料について検討していく。	
			学校教育課	高知県山の学習支援事業	本県の豊かな森林環境のよさやすばらしさを子どもたちに気付かせ、それらに関わる体験活動を通して生きる力を育むために、教科や総合的な学習の時間において、年間を通して森林環境教育を実践するもの	学校と連携した環境学習の実施校数	14校/年 ※当初評価値13校/年から変更	13校/年	15校/年	17校/年	目標以上	継続	各学校が森林総合センター等での森林環境学習を通して、森林の果たす役割について理解を深めている。実施希望校は年々増加しており、継続的な環境学習の定着が見られる。	
	19	鏡川の魅力を伝える人材の確保・育成	52 鏡川の自然やその魅力を伝えることのできる人材の確保・育成のため、「鏡川人づくり塾」（仮称）などの開催に取り組めます。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	鏡川の自然やその魅力を伝えることのできる人材の確保・育成のため、「鏡川人づくり塾」（仮称）などを開催するもの	「鏡川人づくり塾」（仮称）への総参加者数	5人	0人	0人	0人	未実施	新規実施	令和3年度より実施する鏡川流域関係人口創出事業により、鏡川の自然やその魅力を伝える人材を創出していく。
	20	流域産業の活性化	21 農業後継者の育成及び耕作放棄地の活用策など、流域の農業を定着させるための支援策を推進します。	農林水産課	中山間地域等直接支払制度	国の「中山間地域等直接支払制度」を活用し、集落協定（集落等を単位として、農用地を維持・管理していくための取り決め（集落協定）を締結し、5年間農業生産活動を継続する農業者等）に対して、面積に応じて一定額を交付することにより、中山間地域における農業生産活動を維持し、農業・農村の持つ多面的機能（水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等、農業生産活動により生ずる、食料その他の農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能）の効果を市民全体にわたらすもの。	中山間地域等直接支払制度を活用する集落協定数 ※協定数の維持	2協定	2協定	2協定	2協定	目標以上	継続	今後も中山間地域における農地の有する多面的機能の維持が必要であり、各集落協定に対する支援を行う。

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 末中間評 価値	2018年度末 実績	2019年度 末実績	2020年度 末実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況，課題， 今後の方向性等
	20 化	53 し、流域の農業をすつていくための支援策を推進しま す。	土佐山地域振興課	中山間地域等直接支払制度	国の「中山間地域等直接支払制度」を活用し、集落協定（集落等を単位として、農用地を維持・管理していくための取り決め（集落協定）を締結し、5年間農業生産活動を継続する農業者等）に対して、面積に応じて一定額を交付することにより、中山間地域における農業生産活動を維持し、農業・農村の持つ多面的機能（水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等、農業生産活動により生ずる、食料その他の農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能）の効果を市民全体にもたらすもの。	中山間地域等直接支払制度を活用する集落協定数 ※協定数の維持	16協定	16協定	16協定	15協定	目標通り	継続	高齢化等に伴い、担い手不足が避けられない状況で、協定の維持が困難となってくる。今後は近隣集落と広域化する等による協定の維持も必要だが、スマート農業等による農作業の省力化や所得の向上等の総合的な対策も必要となってくる。

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 末中間評 価値	2018年度末 実績	2019年度 末実績	2020年度 末実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況，課題， 今後の方向性等		
まち・ひと・しごと	20	流域産業の活性化	53	鏡地域振興課	中山間地域等直接支払制度 ※予算課は土佐山地域振興課	国の「中山間地域等直接支払制度」を活用し、集落協定（集落等を単位として、農用地を維持・管理していくための取り決め（集落協定）を締結し、5年間農業生産活動を継続する農業者等）に対して、面積に応じて一定額を交付することにより、中山間地域における農業生産活動を維持し、農業・農村の持つ多面的機能（水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等、農業生産活動により生ずる、食料その他の農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能）の効果を市民全体にもたらすもの。	中山間地域等直接支払制度を活用する集落協定数 ※協定数の維持	21協定	21協定	21協定	18協定	目標通り	継続	集落協定加入者の多くが高齢となり、協定活動への参加に対して消極的になっていることや、後継者や引き受け手がいない等の事情により農地維持そのものが困難となりつつあるのが現状。また協定の事務手続きが負担であるとの声も多く、事務の簡素化・省略化を図ることも集落協定に対する一支援と考える。	
				農業委員会	新規就農者との意見交換会	新規就農者を対象に、関係者も交えた意見交換会を開催するもの	意見交換会開催回数	1回/年	1回/年	新型コロナウイルス感染症対策のため次年度に延期	1回/年	目標以上	継続	農業関係機関・団体と連携し、新規就農者からの要望等の聴取、必要な情報提供及び農地等に関する相談対応による定着支援を継続して行う。	
			54	農林水産課	農林水産物活用外商推進事業	農工商連携による地域の特色ある素材を活かした商品開発への支援や、地域外への農林水産物等の供給に向けた販路開拓・拡大を行う。	新商品の開発数	1件/年	0件/年	1件/年	0件/年	目標未達	内容変更	鏡川流域における環境保全型農業の推進や耕作放棄地の解消を目的として事業内容を含めた成果指標の見直しを行う。	
				土佐山地域振興課	夢産地とさやま開発公社公益事業費補助金	（一財）夢産地とさやま開発公社が取組む、有機農業の普及や新規作目導入のための実証栽培、不耕作農地の管理などの公益的な事業に対して支援を行うことで、中山間地域における小規模・高齢農家の営農活動等の支援を行い、農家所得の向上と地域が持つ多面的機能の維持を図る。	—	—	—	—	—	—	継続	高齢化、担い手不足等の中山間地域特有の課題だけでなく、地域内における条件的な課題が様々あるため、抜本的な支援と個別対応の支援を行う必要がある。	
			55	水産資源確保につながる河川環境の保全に向けて、関係主体と連携を図ります。	新エネルギー・環境政策課	鏡川清流保全対策事業	鏡川の自然環境調査（産卵場・遡上等）に基づき、現状や課題について関係者間で情報共有し、良好な河川環境の保全に向けて、その対策について調整・検討するもの	—	—	—	—	—	—	継続	アユの遡上及び産卵場調査を行い、アユの生息状況を把握し、対策を検討している。毎年調査を実施することにより、河川環境のデータを蓄積している。調査結果は、鏡川漁業協同組合に共有するとともにHPで公開しており、引き続き調査及び情報共有を実施していく。
					農林水産課	淡水魚増殖事業	市民が親しめる資源豊かな河川を育てるため、鏡川の本・支流へアユ・アマゴ等の種苗を放流するもの。	アユ等の種苗放流事業実施回数	2回以上/年	4回/年	4回/年	3回/年	目標以上	継続	鏡川水系における魚類の資源増殖と、市民が親しめる河川環境づくりを行うために必要な事業であると考えている。今後についても引き続き事業を行い、鏡川水系における資源の増殖を図る。
	21	流域観光の活性化	56	新エネルギー・環境政策課	—	計画の第一期目については、景観に関する施策を重点的に取組み、第二期目以降に観光振興課等と情報共有しながら、観光客のスタイルに合わせて楽しむことのできる流域観光のルート設定を検討していくもの	—	—	—	—	—	—	未定	鏡川流域関係人口創出事業等を活用し、流域資源の洗い出し等につながる取組の創出を目指す。	
				観光振興課	観光宣伝事業	計画第二期目以降、新エネルギー・環境政策課への情報提供等を行い、連携して鏡川のみどころや魅力の洗い出しを図り、新たな観光資源化に向けた検討を行うもの	—	—	—	—	—	—	継続	観光素材の掘り起こしに握手する、	
			57	新エネルギー・環境政策課	—	計画の第一期目については、景観に関する施策を重点的に取組み、第二期目以降に観光振興課等と情報共有しながら、観光客のスタイルに合わせて楽しむことのできるパンフレットの作成やHPなどによる情報発信やNPO等団体と協働・連携により鏡川の物語性を持たせたガイドの提供など、流域観光の価値の向上を図るもの	—	—	—	—	—	—	未実施	事業実施予定なし	
				観光振興課	観光宣伝事業	計画第二期目以降、新エネルギー・環境政策課と連携して、HP等を活用した鏡川の情報発信を行い、観光客の滞在時間の延長等を図るもの	—	—	—	—	—	—	未実施	事業実施予定なし	

項目	施策	取組	担当課	事業名	事業概要	成果指標	2020年度 末中間評 価値	2018年度末 実績	2019年度 末実績	2020年度 末実績	事業の 達成 状況	事業の 実施 予定	事業の実施状況，課題， 今後の方向性等	
まち・ひと・しごと	22	流域内の交流促進	58	新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	「鏡川流域ネットワーク」などによる情報交流会の開催や情報誌の発行やH P等により、流域で活動する各主体や行政の取組情報を収集整理し、団体間の清流保全に向けた取組の連携及び交流の促進を図ります。	活動団体等に関する情報の総発信件数	10件	2件	0件	8件	目標未達	内容変更	令和2年度より、SNSを活用した鏡川の情報発信を開始し、発信方法の拡充を図った。今後は、活動団体等に関する積極的な情報収集に努め、SNSによる情報発信や交流促進を図っていく。
				新エネルギー・環境政策課	環境保全啓発推進事業	流域内で行われる歴史ある祭りや各種イベント情報の共有・発信などにより、流域住民との交流促進及び地域の伝統文化の継承を促します。	活動団体等に関する情報の総発信件数	10件	2件	0件	8件	目標通り	内容変更	令和2年度より、SNSを活用した鏡川の情報発信を開始し、発信方法の拡充を図った。今後は、積極的な流域内の各種イベント情報の収集に努め、SNSによる情報発信を行っていく。
			59	土佐山地域振興課	土佐山アカデミー事業費補助金	土佐山百年構想における「交流・定住人口拡大プロジェクト」の具体化のため、農業他の産業や地域振興の担い手を育成する場を確立させるよう、広報発行等による情報発信や、ツアー・イベント実施による中山間の場づくりをするもの	—	—	—	—	—	—	継続	土佐山百年構想に基づく交流・定住人口拡大プロジェクトの中で行政が手掛けにくい事業に支援を行っており、地域外に向けて、地域の魅力の発信と浸透を図るため支援を継続する。
				青少年・事務管理課	里山歩きとホタルの夕べin鏡川	ホタルの観察会を小学生とその保護者を対象として開催することにより、環境学習を通じて中山間地域住民との交流を図ろうとするもの。	工石山青少年の家利用者数	6,000人/年	3,991人/年	4,550人/年	2,656人/年	目標未達	継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら参加者数や事業実施時間等を調整していく必要がある。
				民権・文化財課	指定文化財保存事業	土佐山・鏡地区の民俗文化財の保存、保護に関する経費の一部を補助するもの	民俗文化財等の保存団体への支援数 ※支援団体数の維持	8団体	8団体	8団体	8団体	目標通り	継続	保存団体の構成員の高齢化が進んでおり、若手担い手の育成が必要である。
	60	地域コミュニティ推進課	浦戸湾・七河川一斉清掃事業	「美しいまちづくり」の一環として市民総参加のもと、関係各団体等と協働・連携を図りながら、浦戸湾及び湾に流れ込む七つの河川の一斉清掃を行い、流域内の交流の促進、水質の浄化、親水、環境美化意識の高揚を図るもの	浦戸湾・七河川一斉清掃への参加者数（直近3か年の平均値）	8,000人（直近3か年の平均値）	7,266人（直近3か年の平均値）	7,060人（直近3か年の平均値）	4,432人（直近3か年の平均値）	目標未達	未定	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2020年度から中止となっている。「浦戸湾・七河川一斉清掃」などの清掃活動はボランティアであるため、清掃参加者の高齢化や参加者数減少が課題となっており、活動そのものについて検討していく。		
	23	清流保全活動にかかる支援・連携のしくみづくり	61	新エネルギー・環境政策課	—	計画の第一期目については、景観に関する施策を重点的に取組み、第二期目以降にNo.6 1～6 3までの取組について重点的に取り組むもの	—	—	—	—	—	未定	今後は企業版ふるさと納税やクラウドファンディングなどを活用した財源確保を検討する。	
			62	新エネルギー・環境政策課	—	計画の第一期目については、景観に関する施策を重点的に取組み、第二期目以降にNo.6 1～6 3までの取組について重点的に取り組むもの	—	—	—	—	—	未実施	現在のところ事業実施予定なし	
	24	清流保全活動の拠点づくり	63	新エネルギー・環境政策課	—	計画の第一期目については、景観に関する施策を重点的に取組み、第二期目以降にNo.6 1～6 3までの取組について重点的に取り組むもの	—	—	—	—	—	未定	鏡川流域関係人口創出事業の関係人口講座が清流保全活動の拠点となることを狙う。	